

上下水道DX技術を3年以内に標準実装 政府会議で決定 リークネットワークセルラー LNL-Cのご活用を！

上下水道DXカタログ(国土交通省)に掲載されました

デジタル地方創生サービスカタログ(デジタル庁)に掲載されました

詳細はコチラ



分類(インフラ
メンテナンス)



DX技術の標準実装を前倒し 5年から3年に

石破首相は政府の会議において、埼玉県で発生した重大事故を受け、上下水道インフラの老朽化に対応し、自治体による事業運営を持続可能なものとするのが急務だとし取り組みを求めた。国土交通・総務両大臣に対して、漏水検知、地中管路の点検等にセンサーや人工衛星データを用いたDX技術を今後5年程度で全国で実装するという目標を大幅に前倒し、3年程度で全国で標準実装するよう指示した。

(2025年2月20日首相官邸デジタル行財政改革会議)

DX技術の標準装備

メンテナンスの
高度化・効率化

上下水道サービスが
持続的に提供される社会を実現

クラウド型IoT遠隔漏水監視システム リークネットワークセルラー LNL-C

IoT・AI技術によるDXを活用した危機管理の新しいカタチ

LNL-Cは、DXにより管路維持管理業務の省力化・無人化を推進するシステムです。

《IoT型のサービス》
 ・水道付帯施設に設置する漏水センサーが、常時監視する水道管の振動音をデータ化し、クラウド上のサーバーに伝送します。

《AIがリスクを判定》
 ・サーバーに蓄積されるデータをAIが学習し、ロガー設置箇所の漏水発生リスクを算出します。
 ・利用者はアプリ上で判定結果をいつでもどこでも知ることができ、監視対象管網の最新状況を常に把握できるようになります。

《お悩みを解決》
 ・LNL-Cは、漏水調査を臨時に、あるいは定期的に行っても解決しなかった「管路状態の常時把握」を実現します。
 ・また、災害時には、発災前後の管路状態の確認が可能となるため、復旧計画の策定と早急な対応が期待できます。

フジテコム リークネットワークセルラー LNL-C

漏水監視サービスをはじめますか？

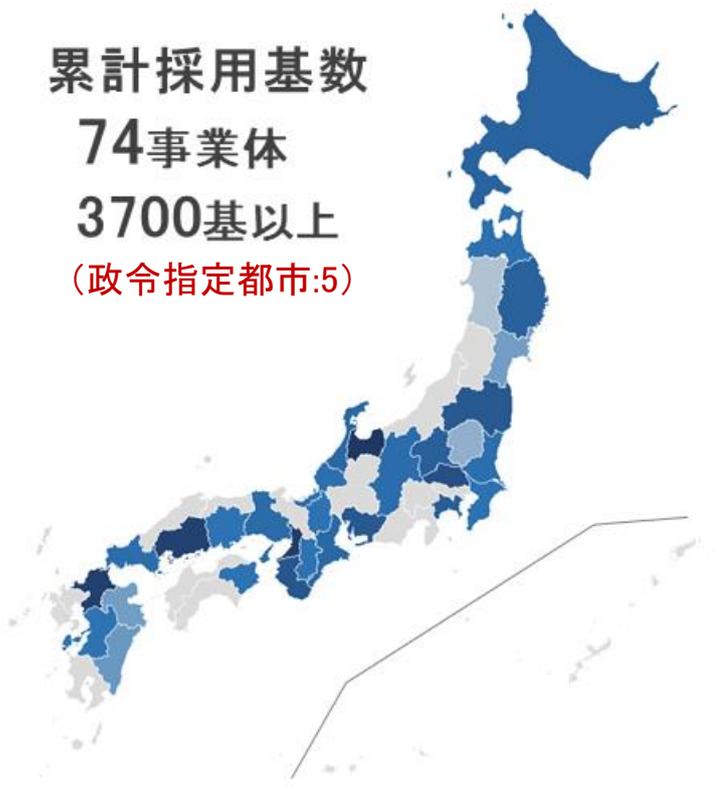
イニシャルコスト“ゼロ”で水道DX化を推進 初期投資不要(月額固定料金のみ)で始められます

累計採用基数

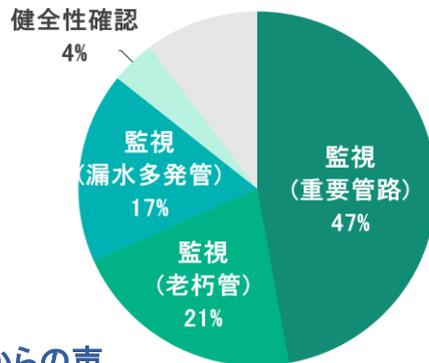
74事業者

3700基以上

(政令指定都市:5)



DX化が目的に合わせた管理を可能にします



お客様からの声



継続的な監視により重大事故に繋がる前に確認できることは、安心安全な水の提供に繋がっています。



監視により重要なエリアに漏水は無いと確認できたので安心感があります。



監視によって得られたデータは蓄積できるので、漏水兆候の把握や早期発見に繋がるほか、管路更新の優先順位を決めるツールになりうると思います。

水道管路のストックマネジメントに貢献

LNL-Cの実装により既設の管路資産を有効活用すると共に、長寿命化を図るための管理が可能に



サービスの向上

安定した水供給



危機管理の強化

事故リスクの低減
災害時などの復旧
活動の迅速化



予防保全型の
維持管理

効果的な資産管理
(長寿命化)
ライフサイクルコスト低減



業務効率化と配水
の最適化に寄与

毎日の点検
省力化
経営の改善

デジタル田園都市国家構想交付金の採用実績あり
DX化にてLNL-C実装した自治体の活用事例をご紹介します

※デジタル庁のデジタル地方創生サービスカタログに、優良なデジタル実装を支えるサービスとして掲載されました。



 **フジコム株式会社**
みず、みち、いのち。

本社 / 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町二丁目20番地
TEL(03)3862-3196
支店・営業所 / 札幌 TEL(011)864-9511 中部 TEL(052)933-4891
北日本 TEL(022)222-2011 大阪 TEL(06)6362-6755
東京 TEL(03)3865-2960 広島 TEL(082)261-0939
信越 TEL(026)232-3521 九州 TEL(092)474-3225

リークネットセルラー LNL-C

